合

計

(桜川市行政評価システム) 記入年月日 令和 3年度 事務事業評価表(令和 2年度 の実績評価) 月 事業区分 事務事業名 報道機関連絡事業 新規/継続 継続 事務事業№. 060101000946 政策体系上の位置付け 単独/補助 単独 010101 所属課 総合計画の施策名 市民協働のまちづくり 秘書広報課 06 みんなで築く自治のまちづくり 政策名 課長名 市民協働のまちづくり 施策名 01 グルー 秘書広報G 系 01 ①広報広聴の充実 手段名 担当者名 財務会計上の位置付け 業期 事業 細 一般会計 単年度繰返し (平成28 年度~) 目 予算科目 01 02 01 04 01 00 広報広聴事業 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入 法令根拠 | 桜川市報道機関連絡マ ュアル 事務事業の現状把握(その1) (D_0) (1) 事務事業の概要 ①事務事業の概要(事務事業の全体像) ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・「桜川市報道機関連絡マニュアル」に基づき、報道機関からの取材依 • 「桜川市報道機関連絡マニュアル」に基づき、報道機関からの取材依頼の取 頼の取次・協議・調整を一元的に管理する。 次・協議・調整を一元的に管理する。 ・プレスリリースを通じて、市からの情報発信を行う。 ・プレスリリースの情報取集・作成・校正・情報発信を行う。 ・市の正確・迅速・確実な情報発信に繋げる。 手 段 指標値の推移 (2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、 01年度 02年度 03年度 04年度 ○5年度 ①手段 (担当者の活動内容) (活動量を表す指標) 単位 4)活動指標 (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) 25,00 報道件数 件 23.00 21.00 25.00 25.00 • 「桜川市報道機関連絡マニュアル」に基 づき、報道機関からの取材依頼の取次・協 議・調整を一元的に管理する。 プレスリリース発信件数 件 37,00 40.00 45.00 50.00 55.00 プレスリリースの情報取集・作成・校 正・情報発信を行う。 0.000.000.000.000.000.00 0.00 0.00 0.00 0.00 02年度 03年度 04年度 05年度 ○1年度 (誰、何を対象にしているのか) 単位 ②対象 ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標) (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) 人口 人 39.692.00 38,905.00 38,118.00 37,331.00 36,544.00 市民 件 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.000.000.000.000.00O1年度 02年度 03年度 04年度 05年度 (この事業によって対象をどう変え (対象における意図の達成度 ③意図 ⑥成果指標 単位 を表す指標) るのか) (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) 行政の情報が十分に提供されていると感 % 58.00 4980 55.40 56.00 57.00 じている市民 市の情報が得られる。 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 % 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 01年度 02年度 03年度 期間限定 投入量(事業費)の推移 (3)(実績) (実績) (計画) 総投入量 国庫支出金 0 千円 \cap \cap \cap 県支出金 千円 \circ 0 $\overline{}$ \cap 千円 投 事 源 地方債 \cap \cap \cap O 使用料・手数料 千円 O O 内 0 0 費 訳 その他 千円 0 O 0 O 宇宙 -般財源 O \cap 0 0 事業費計(A) 千円 O 0 0 \cap 2.00人 2.00人 正規職員従事人数 2.00人 量 02年度事業費 実績(千円) 03年度事業費 予算(千円)

0

合

計

費 σ 内訳

4) この事態事業を駆使した多っかけな、いり潜と小弦経暦で開始されたのか	+75+VV 5	+0.44 (%600)+ 60-+ NV			-57-m		
平成28年1月放送の傳統番組での放送内容が発満となり、傳輸の一元化を図ることを目的に平成28年度から開始されたものです。 (5) この事務事業に対して関係者(住民、論会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 平成28年第1回移川市中議会定別会で情報の一元化の意見が寄せられているか? 平成28年第1回移川市中議会定別会で情報の一元化の意見が寄せられているか? 「政策体系との整合性 (この事務事業の目的は中の政策条件に対することであり、成務制度の今の取材の残等を一元のに管理することは、中の正確・近ま、確実は信部特殊に繋げることであり、成務組織の方案に続けつく。 「大きで、などの事業をかが行わなければならないの?物金を投入して、差別も認識の方案に続けつく。 「変生の多る 中の情報をに繋げることであり、成務組織の方案に対けつく。 「変生である 中の情報を放けることであり、成務組織の方案に続けつく。 「変生である 中の情報を放けることであり、成務と扱入して、差別する目のか?) (法定党議事業との名物) 「変生である 中の情報を依託がることであり、市が行うことは妥当である。 ② 原来の日、余数 (成果を自己させるた助は方なか)の課金を入して、その情報を効率的に発信しており、向上の余地はない。 「会社・休止の成果への影響 (事務要定を廃止・休止した場合の意能のうますな) (情報を対率的に発信しており、向上の余地はない。 「会社・休止の成果への影響 (事務要定を廃止・休止した場合の意能のうますな) (他に対し、のより事業が表別を通り上) (他に対しないため、制度を放棄する) 中の情報を対象を対したがあります?(市以外の取り組みもさむ)) (他に対しており、向上の余地はない。 「会社・休止の成果への影響 (原務要素を廃止・休止した場合の意味のまます?(市以外の取り組みもさむ)) (他に対しないため、制度の変生の影響を表別できないか?) 中の情報を対象を表別を表していているのようないに対しているが、(他に対しないため) (地に対します) (地に対しないため、制度が表別できる) 中の情報を対しているのなら、連携が表別できる) 中の情報を対しているため、制度を表しているため。 (地に対しませる) (地	事務事業名	報道機関連絡事業	事務事業No.	60101000946	所属課	秘書広報課	
(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が考せられているが? 平成28年第1回使川市市議会定例会で情報の一元化の意見が寄せられました。 「大きないった」 「東西 頃 日							
平成28年第1回校川市市議会定例会で情報の一元化の意見が寄せられました。 「Soe) 2、評価の部 * 原則は事節評価。							
(See) 2、評価の部 *原則は事前評価.							
遊園	平成20年第1回位川中は武力に例式で開催の一九日の意光が可とりれるので。						
② 設策体系との整合性 (この事務事業の目前は市の設策体系に終びつくりを認識の表したいました。 「設定している」 「対する。							
② 設策体系との整合性 (この事務事業の目前は市の設策体系に終びつくりを認識の表したいました。 「設定している」 「対する。							
武力・アンスリリースを選して市からの情報発信を行うこと、報道機関からの取材体類等を一元的に管理することは、市の正確・設定を持続表にありている 正力・アンスリリースを選して市からの情報発信を行うこと、報道機関からの取材体類等を一元的に管理することは、市の正確・設定を構造を指摘発信に繋がることであり、応報応期の充実に結びつく。 ② 公共陽与の受当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) 中の情報発信に繋がることであり、市が行うことは安当である。 ③ 成果の向上余蛇 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が県面で成果向上が期待できないのか?) 回上余地がない							
速・産業分・特報発信に繋げることであり、広報に節の介実に結びつく。 20 公共関与の受当性 (広ぜこの事業を形が行わなければならないのか? 粉金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)							
図画である	状				元的に管理するこ	とは、市の正確・迅	
③ 成果の向上余地 (
同上余地がない							
(4)廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 1	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)						
(個に手段がある場合)	向上余地がない プレスリリースや取材依頼等を通じて、市の情報を効率的に発信しており、向上の余地はない。						
影響有 報道機関を通じての市の情報発信、情報提供が出来なくなる。 (他に手段がある場合) (地に手段がある場合) (地に乗段がある場合) (地に乗段がある場合) (地に乗段がある場合) (地に乗段がある場合) (地に乗段がある場合) (地に乗扱がある場合) (地に乗扱があるは、	④廃止・休止の成果/	への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無な	こその内容は?)				
(他に手段がある場合)	効 影響有						
(を地がない 他に類似事業はなく、統廃合・連携は出来ない。。 (の事業費・人件費の削除余地(成果を下げずに事業費を削除できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) 事業費は計上していないため、削減出来ない。人件費は広報担当者の2名で行っているため、削減の余地はない。 (の要益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) 「で要益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) 「中国」 3、評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映) (1) 1次評価者としての評価結果 (2) 全体総括 (振り返り、反省点) 令和元年11月29日に開催した広報主任勉強会において、「情報の一元化」並びに、「相関の対理を関するとしての評価結果 (2) 全体総括 (振り返り、反省点) 令和元年11月29日に開催した広報主任勉強会において、「情報の一元化」並びに、「相関の対理を関するとしての評価による関係の関係の対理を行うで表すの方向性 (複数回答可) 見直し余地あり 見道は経行できる 見ばり はずは 1月前 極力 は近に入不要) 日前の再設定 日前は 1月前	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む))						
下の							
事業費は計上していないため、削減出来ない。 人件費は広報担当者の2名で行っているため、削減の余地はない。 ② 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) ② 下・公平である 市の情報発信や取材応対の事業であるため、公平・公正である。 (Plan) 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映) (2) 全体総括(振り返り、反省点) (1) 1次評価者としての評価結果 (2) 全体総括(振り返り、反省点) (1) 自的妥当性							
公正・公平である							
では では では では では では では で	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)						
(1) 1次評価者としての評価結果 (2) 全体総括(振り返り、反省点) 令和元年11月29日に開催した広報主任勉強会において、「情報の一元化」並びに、「相関である。							
(4) 改革・改善による期待成別							
①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり □ 別季性の改善 □ 公平性の改善 □ 対域 維持 増加 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	(1) 1次評価省とし				いて、「情報の一	元化」並びに、「桜	
(複数回答可)	②有効性 ③効率性 ■	適切 □ 見直し余地あり 川市報道 適切 □ 見直し余地あり ➡ □ 見直し余地あり ➡ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □					
 一終了 ■継続 → □ 改革改善を行う→ □ 目的の再設定 □ 効率性の改善 □ 公平性の改善 □ 公平性の改善 □ 公平性の改善 □ 公平性の改善 □ 以下性の改善 □ 以下性の改善 □ が廃合ができる □ 連携ができる □ 連携ができる □ 連携ができる □ は □ 向 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	(3) 今後の事業の方向	·—	次司)		(4)改革・	改善による期待成果	
□ 廃止 □ 休止 □ 現状維持 □ 統廃合ができる □ 連携ができる □ 削減 維持 増加 (5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 □ 成 維 □ 成 維 □ 成 維 □ 成 維 □ 成 維 □ 成 維 □ 成 維 □ 成 株 □ 成 株 □ 成 株 □ 成 株 □ 成 株 □ 成 株 □ 成 株 □ 成 株 □ 成 株 □ 成 株 □ 成 株 □ 成 株 □ 成 株 □ 成 株 □ 成 株 □ 成 株 □ 成 級 □	□ 終了 ■ 継			効率性の改善			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	□ 廃止 □ 休						
	(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策						
[6]							
(6)事務事業優先度評価結果							
成果優先度評価結果						西結果 9	
【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項 【(1) 課長評価							
津長確認後の 評価							
A : 継続(現状維持)	A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止	浴欄				